

授業改善シート〔国語〕

校番(32) 福山市立 松永 小学校

昨年度課題

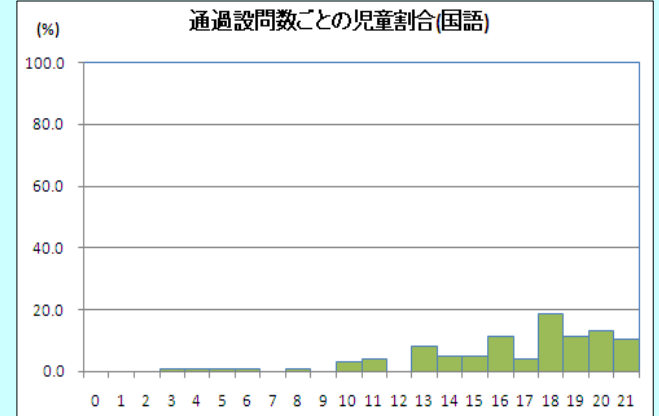
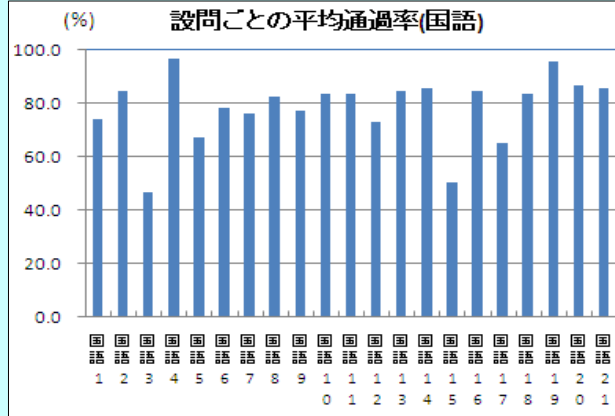
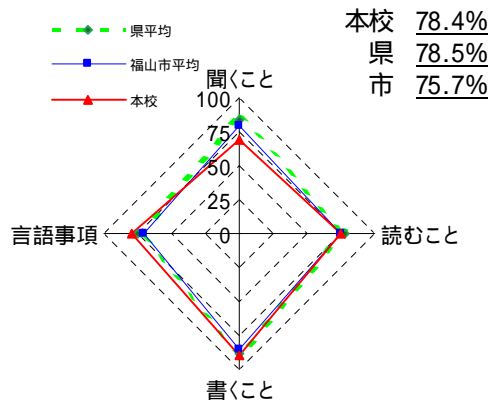
話の内容をよく聞いて、要点を聞き取ることが十分でない。
主語の役割や、主語と述語の照応関係について理解することが十分でない。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

授業の中で、意見文・報告文・提案文などのメモのとり方の指導をする。
主語が動作をする人等を表す語であることや、述語とともに文をつくる語であることを、さまざまな例文を示しながら理解できるよう指導する。

《本年度の目標値 学期ごとに、聞くことについての単元テストを行い、80点以上の児童を80%以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

話の内容をよく聞いて、要点を聞き取ること課題がある。
(通過率46.4%)

場面の移り変わりや情景を、叙述に即して想像しながら読むことに課題がある。
(通過率50.5%)

取組みの検証

時期：1月後半 目標値：通過率を10%向上
方法：「基礎・基本」定着状況調査問題

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【国語科】

基本的なメモの取り方(必要な項目を意識し、単語、箇条書き、短い文などで書く)を指導する。

文学的文章の学習において、文中の言葉を手がかりにして、登場人物の気持ちを想像できるよう指導する。

【全校・他教科等】

学年に応じて、担任の話や校内放送等をよく聞き、話の内容の大事なこと(5W1H)をメモにとったり、尋ねたりする活動を仕組む。

来年度の目標値

学期ごとに、聞くことについての単元テストを行い、80点以上の児童を80%以上にする。

授業改善シート〔算数〕

校番(32) 福山市立 松永 小学校

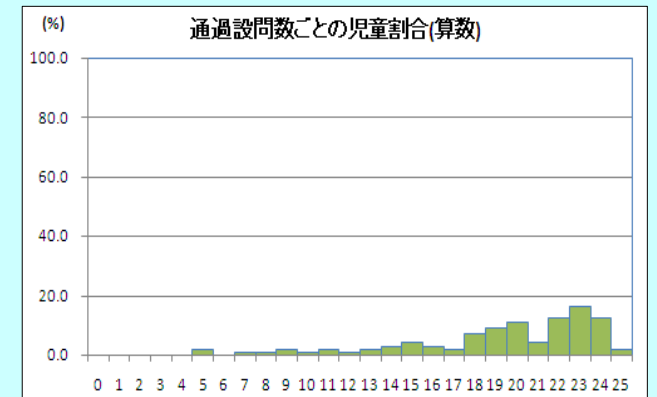
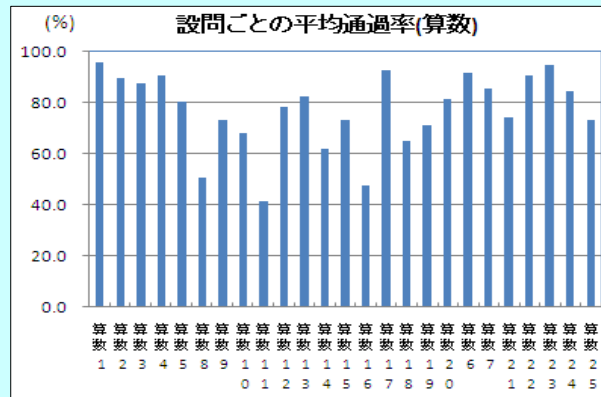
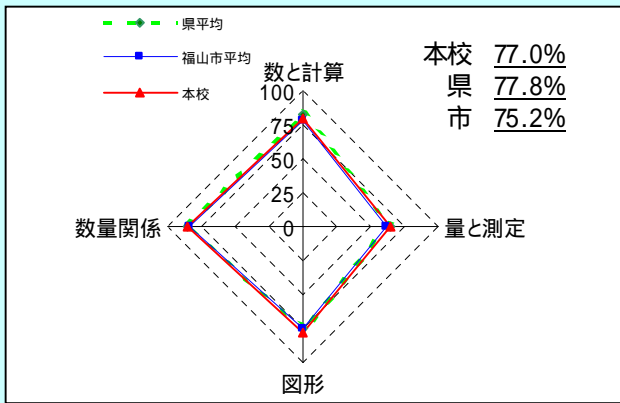
昨年度課題

菱形の概念が十分形成されていない。四角形を分類する視点となる特徴が十分理解されていない。
 変わり方の規則性をとらえる力が十分でない。例をもとに考えを進める力が十分でない。

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

4学年の授業において、四角形の定義や操作活動を通して正しく理解させる。
 過去の学力テスト等を参考に、変わり方の規則性をとらえたり、例をもとに考えを進めたりする問題のプリントを学習に取り入れる。
 《本年度の目標値 学期ごとに単元テストを実施し、思考・表現領域において、80点以上の児童を80%以上にする。》

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 「基礎・基本」定着状況調査

約1kgなどの重さの量感が培われておらず、身近なものの重さと結び付けて考えることが十分にできない。
 (通過率41.2%)

補助線を引くなどして図形をイメージできず、複合図形の面積を求めることが十分にできない。
 (通過率47.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

【算数科】

単位(kgやL等)については、教室の中に算数コーナーを作って実際に測定する時間を十分に確保するなど、量感を育てる工夫をする。

複雑な図形の面積を求めるために、補助線を書き入れたり、長さの分かっている辺に数字を書き込んだりする指導をする。

【全校・他教科等】

式を立てて計算する際は、その理由も言葉・図等を用いて説明させる。

取組みの検証

時期：1月後半 目標値：通過率を10%向上
 方法：「基礎・基本」定着状況調査問題

来年度の目標値

学期ごとに単元テストを実施し、量と測定の領域において、80点以上の児童を80%以上にする。